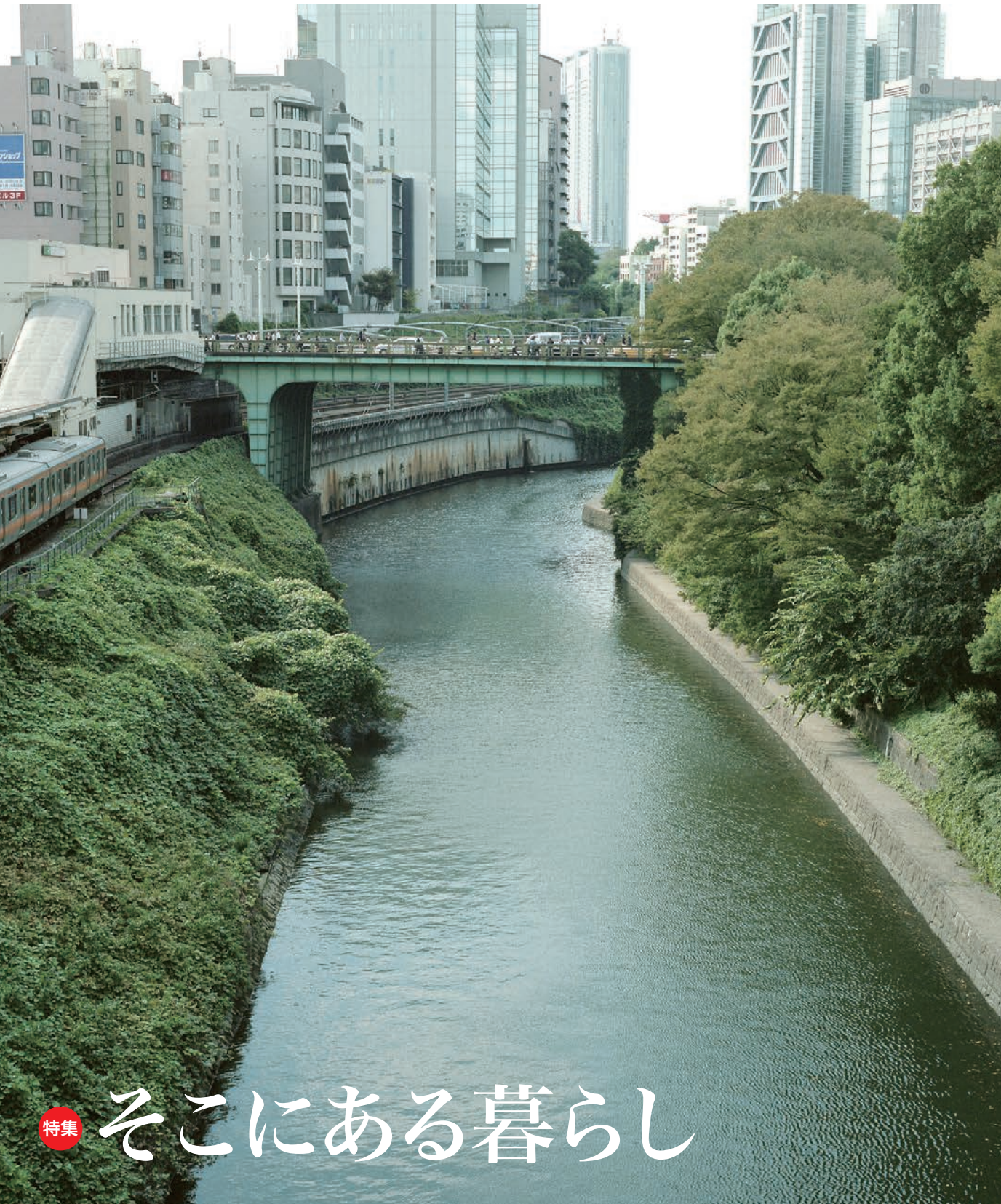


本の上の映画館

3

2012 March

 mediaSeven



特集

そこにある暮らし

特集 そこにある暮らし

会場：プレゼンテーションスタジオ 定員：80名 入場：無料
主催：川口市立中央図書館 運営：NPO Community Design Council

- 開場は各日上映時間の30分前です。
- 申し込みは不要ですので、上映当日に会場までお越しください。
- 音の聞こえづらい方をサポートする磁気ループシステムを導入しています。Tモードつき補聴器をお持ちでない方には、専用受信機を貸し出します。

3月10日(土) 14:00～(上映時間 118分)

『美しい夏キリシマ』

1945年夏。南九州の霧島地方では、敵機グラマンが田園を横切り悠々と飛んでいく。15歳の日高康夫は、動員先の工場で空襲に遭い、親友を見殺しにしたという罪の意識から、毎日をうつうつと過ごしていた…。

監督：黒木和雄/出演：柄本佑ほか/2002年/日本/DVD

3月14日(水) 19:00～(上映時間 111分)

『紙屋悦子の青春』

敗戦の色濃い昭和20年春。両親を失ったばかりの娘・紙屋悦子は、鹿児島島の田舎町で兄・安忠とその妻・ふさの三人で慎ましい毎日をおくっていた。ある日悦子に見合い話が持ち上がった。相手は兄の後輩・明石少尉の親友、永与少尉だった。

監督：黒木和雄/出演：原田知世ほか/2006年/日本/DVD

3月25日(日) 14:00～(上映時間 99分)

『父と暮せば』

人類史上初の原爆が投下されてから三年後の広島。図書館に勤める美津江の前に、一人の青年が現れた。その青年に好意を示され、彼女も一目で彼に魅かれていく。しかし、愛する人々を原爆で失った美津江は自分の恋心を押さえつけようとしていた。

監督：黒木和雄/出演：宮沢りえほか/2004年/日本/DVD

3月29日(木) 19:00～(上映時間 79分)

『黄金花 - 秘すれば花、死すれば蝶 -』

一癖も二癖もある老人達の集まる「浴陽荘」。その中の一人、植物学者の牧博士はある日、裏山でヒマラヤに咲くという奇跡の花「黄金花」を偶然見かける。仲間たちは今日もたわいのない事で、大騒ぎをしている…。

監督：木村盛夫/出演：原田芳雄ほか/2009年/日本/DVD

忘れないうちにも

今月の本の上の映画館は邦画の特集です。四作品中三作品は黒木和雄監督の作品です。黒木監督は日本のドキュメンタリー監督の草分けとして知られ、前衛的な青春映画から、晩年には『戦争レクイエム三部作』と呼ばれる作品群を製作しています。

『美しい夏キリシマ』は『戦争レクイエム三部作』の二作目です。黒木監督の自伝的な内容でもある三部作のモチーフは、いずれも1945年8月です。戦争の悲惨さと、対照的な霧島の映像の美しさが際立ちます。

続く『紙屋悦子の青春』は昭和20年代の日本の生活を丁寧にとらえた作品です。登場人物の少なさと控えめな演出が印象的なこの作品が、黒木監督の遺作となりました。

『父と暮せば』は三部作の最後の作品です。舞台は原爆が投下されてから3年後の広島で、原作は井上ひさしです。「あんなに沢山の人が死んだのに、自分だけ生き残ってしまった。生き残った私は幸せになんてなれない。人を好きになったり男の人と付き合ったりしちやいけな」と自分を責める若い女性の生き方はとても切実です。

最後は木村盛夫監督が91歳の時に製作した遺作『黄金花 - 秘すれば花、死すれば蝶 -』です。誰もが向き合うことになる<古い>について考えさせられますが、不思議な世界観の中で、数々の名優たちによるドタバタが見ものです。

そしてまた、今月の上映作品のうち三作品は、昨年亡くなった原田芳雄の出演作です。若いころのアウトローのイメージとは違った、飄々とした独特な佇まいにもぜひご注目ください。

4月の上映予定

- 8日(日) 14:00～ 『子供たちの王様』
- 10日(火) 19:00～ 『心の香り』
- 21日(土) 14:00～ 『テオレマ』
- 25日(水) 19:00～ 『遠足』

川口市立映像・情報メディアセンター
メディアセブン

〒332-0015

埼玉県川口市川口1-1-1 キュポ・ラ7F

◎開館時間 月-金 10:00-21:00 / 土日祝日 9:00-18:00

◎休館日 毎月第3金曜日(機器調整日)、1月1日-4日

◎お問い合わせ Tel. 048-227-7622 Fax. 048-226-7724

◎URL

<http://www.mediaseven.jp>

